



学校報

南 港



創立 明治8(1875)年2月12日

〒010-0511

男鹿市船川港船川字漆畑36番地1
男鹿市立船川第一小学校

TEL 0185-24-3231

FAX 0185-24-3232

E-mail : funaichi@namahage.ne.jp
https://edu.city.oga.akita.jp/funaichi-es/

「開徑待佳賓」の言葉に

校長 佐藤 和久

「おはようございます。いらっしゃいませ。あらっ、ご夫婦で…」と、整った店内で明るくさわやかに迎えられると、大切にされているなど感じるものです。早朝からのお盆の買い出し客に、急ぎの作業の手を止めて向き合う従業員の方々の姿には、顧客ファーストを掲げる企業経営の一端とともに、その方々のもつ豊かで温かい人間味も伝わってきます▶「開徑待佳賓」という言葉があります。「みちを ひらきて かひんをまつ」と読みます。ずっと待っていたよい客を迎え入れるために、細やかな心配りをしましょうという言葉で、相手を思いやり、心を開くことが自分自身も幸せにするという意味があります。禅語で、茶の間には、この言葉の書かれた掛軸が飾られることがあります。(『お茶にごす。』漫画原作:西森博之/小学館・ドラマ制作:テレビ東京)
▶私たちにあって、よい客とは、子ども、保護者、地域の方、その他、本校に縁のある方々です。時に苦言を呈してくださる方も、私たちに学校経営や教育活動を見直す機会をつくってくださったと考えるとよい客です。最善の心配りができているか、小さな声にも耳を傾けられているかなど、日々自問自答しながら、前学期後半からの教育活動を進めています▶現在、県内外の大学に通う学生たちが、教育実習(8/29~9/16)とインターンシップ実習(9/5~9/9)に臨んでいます。本校の卒業生で、将来、教職を志望している熱意ある若者たちです。令和5年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験の小学校の志願状況は、昨年度比47名減で倍率1.3倍です。全国的に教員のなり手不足は顕著で、本県も例外ではありません。このような中、教職志望の卒業生もまた、よい客です。後輩たちとのふれあいや実習を通して、実践的指導力などを養ってほしいと思います。私たちも持続可能な働き方を示しながら、教職の魅力を伝えることができるか問われています。



★3年体育科「水泳学習」…プールにて

さわやかあいさつ…「あじさい運動」実施中!

〈ICTを活用したあきたの教育力向上事業〉 ICTを活用した授業改善支援事業の取組について⑮

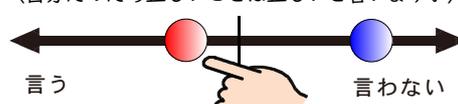
研究主題:『進んで学習する子どもの育成 ~ICTの活用による授業づくりを通して~』

葛藤のある場面で、自分の思考の立ち位置を可視化する時に活用しているのが、ポジショニングという機能です。道徳科の学習を中心によく使われています。例えば、5年道徳科「公正、公平な態度とは~どうすればいいのだろう~」の学習では、自分の気持ちをタブレットPCを使ってポジショニングで示し、全体で共有したり、小グループで話し合ったりしました。【学習での使い方】子どもたちが、マーカー(○印…1回目青、2回目赤)で自分の考えを配置し、コメントを短く入力します。子どもたちの回答はリアルタイムで確認・共有することができ、回答の一覧を示してクラスの傾向を把握することができます。議論しながら考えを練り直し、何度かマーカーを動かす時間を設定し、コメントも修正しながら進めます。



★ポジショニングの電子黒板への映し出し

〈自分だったら正しいことは正しいと言いますか〉



(理由) 自分のチームが負けてしまうから
秋田 華子 【シメージ図】

後から考えの変容の過程を分析したり、変化の軌跡を振り返ったりすることも可能です。この機能を使うと、気軽に具体的に考えを表現したり、共有したりすることができ、議論がより多面的・多角的に行われるようになることが期待されます。『研究通信』より抜粋

楽しく、わくわく クラブ活動!

スクールボランティアを講師に、特別活動の一つであるクラブ活動が水曜日の6校時に行われています。(1単位時間60分間、年間10回) 4年生以上の子どもたちがそれぞれ興味関心のある活動に参加し、地域との貴重な交流の場ともなっています。また、制作品を学習発表会で展示するクラブもあります。*図書ボランティアの整頓・整備に取り組んでいる図書ボランティアの活動も紹介しています。



ネイチャークラフト

(講師) ○○○○さん
(内容) 多様な素材を用いた作品づくり



家庭科

(講師) ○○○○さん、○○○○さん
(内容) 手芸や簡単な料理作り



囲碁・将棋

(講師) ○○○○さん
(内容) 囲碁と将棋の対局



太鼓

(講師) ○○○○さん
(内容) 和太鼓の演奏



昔遊び

(講師) ○○○○さん
(内容) 竹馬や凧作り等の昔遊び



和風

(講師) ○○○○さん、○○○○さん
(内容) 茶道や華道等の簡単な作法



スポーツ

(講師) ○○○○さん
(内容) 様々なスポーツ



図書ボランティア

(スタッフ) ○○○○さん、○○○○さん
* ○○○○さん、○○○○さん



第2回学校運営協議会を開催

熟議テーマ:「学校は、どのように公民館や事業所と連携し、地域づくりに関わっていくか?」

7月下旬、第2回学校運営協議会*を開催し、「学校は、どのように公民館や事業所と連携し、地域づくりに関わっていくか?」というテーマで熟議を行いました。ワークショップ形式により様々な意見が出されました。

* 学校運営協議会の主なはたらき

- ・子どもを取り巻く地域の課題把握
- ・学校運営基本方針への意見・承認
- ・学校運営に関する熟議
- ・学校支援の方策への意見・検討
- ・学校運営への学校関係者評価



★ 第2回学校運営協議会の熟議の様子から

◆ 主な意見交換から～

●旧小学校区(船二小、男鹿中小、椿小、南小)への訪問。統合により、旧小学校区への意識や思いがなくなっている。すでに校舎がなくなっているところもある。ふるさと学習の一環として、学校があった頃の行事などを撮影したビデオや写真などを見ることで、元々の船一学区の子どもたちも地域を見つめ直す機会となる。●地域の人たちが学校に向いて子どもたちと関わりをもつだけでは、地域づくり、地域の活性化にはつながらない。●学校には、地域の人たちが子どもたちに気楽に話しやすい場を作っていたほしい。●公民館が、地域の様々な歴史・文化・自然・産業について詳しい方と学校をつなぐ架け橋となり、学校と地域がつながってほしい。●子どもたちがその地域の公民館で話を聞くという方法もある。●公民館主催行事、地域の行事への子どもや教職員の積極的な参加を期待したい。●子どもたちは、自分たちの地域のことを知らない。まずは知ることが大切である。●学校も地域も、子どもたちに総合的に学ぶ機会を与えていくことが大切である。●男鹿には、観光、なまはげ、祭典、海・山、ジオパーク、水族館、くじら学校をはじめ、歴史・文化・自然・産業などたくさんの魅力があることを子どもたちに気付かせたい。農業体験や漁業体験もできる。●子どもたちには、高齢者が増えてきたことや、福祉に関する学習を通して「命」の大切さをもっと学んでほしい。●高齢者は子どもたちと関わりと元気が出る。元気な子どもの声が聞かれる場やふれあいの場作りが大切である。●老人介護施設でのボランティア活動、オンラインやビデオレターによる交流も考えられる。●ぜひ、活動の中にSDGsの考えを取り入れてほしい。これから先の社会には必要不可欠な考えであり、子どもたちにも身に付けてほしい。

秋田県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター開催！ 6年生5名が参加！



★オンラインで講義を受けている6年生たち

8月2日(火)に「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター」が本校を会場にオンラインで実施されました。

この事業は、リーダーシップについて学ぶことを第一とし、船一小(6年・〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん)をはじめ、大曲中、秋田北高、聖霊高、視覚支援学校の県内5校から計15名が参加しました。

慣れないオンライン形式に緊張しながらも、講義や体験、話し合い等の様々な活動に一人一人が真剣に取り組み、充実した時間を過ごしました。講習終了後には、「JRCの態度目標の『気付き』『考え』『行動する』は、普段の学校生活にも生かせよう」という感想も出されました。最上級生として、よりよい学校生活を目指し、今回の経験を生かしていくことが期待されます。

3年校外学習！ ニット製品づくりの現場で

3年校外学習では寒風山から下界を一望した後、マックスバリュ男鹿店、(株)443プランニング、市立図書館を見学しました。

船川港海岸通りにある(株)443プランニングでは、ニットの縫製品が作られています。自動縫織機やミシンを使った手作業で帽子などを作る様子を見学することができました。made in OGAの製品が全国で販売されていることに驚きました。



★製品づくりの説明を受ける3年生

なかよし班活動！ 異年齢の交流、進行中！

なかよし班とは、全校縦割りの異年齢で構成されるグループです。上学年のリーダー性を育てながら、下学年も共に協力して活動に取り組むことをねらいとしています。具体的には、毎週水曜日のなかよし班清掃やなべっこ、ゲーム集会などがあります。どれも、子どもたちが楽しみにしているものです。しかし、コロナ下、なかよし班給食は、しばらく見合わせています。



★なかよし班での交流会の様子

不審者対応教室！ いざというときに備えて

夏休みを前に、男鹿警察署と秋田臨港警察署の方々を講師に、不審者対応の防犯教室を開催しました。

「いかのおすし」の合い言葉を確認後、不審者に遭遇しないために何ができるかや、遭遇したときの具体的な対処方法(距離の取り方等)を動作化しながら体験的に学びました。夏休み明けも安全な生活を送ることができるよう今回の学びを生かしてほしいと思います。



★不審者対応の実技演習の様子

おまかせください！ 集会活動&あじさい運動

児童会主催の集会を中心に、その企画・運営にあたっているのは、運営委員の子どもたちです。司会進行も事前練習を重ねて、原稿なしで自分の言葉で話せるようになりました。

また、あじさい運動の啓発・推進に取り組んでいるのも運営委員です。夏休み前後の集会でも、全校児童を前に、旬なコメントを交えながら明るくさわやかなあいさつをすることができました。



★夏休み前集会で挨拶をする運営委員

★ 授業研究会③ 「ICTの活用による授業づくり」について研修しました！

秋田県教育庁中央教育事務所の指導主事などを招き、教職員間で研究授業を提示・参観し、子どもの具体的な姿から、指導方法の成果と課題・改善策について話し合いました。2年松組担任・佐々木駿斗教諭による体育科「マットを使った運動遊び」の授業で子どもたちは、中・高学年の器械運動につながる基本的な運動遊びを自分の課題にあったコース選択をして技のレベルアップを目指しました。(ICTの活用…手本となる演技動画をモニターに表示、タブレットPCの動画機能で友達の演技を撮影など)。また、5年松組担任・三浦久美教諭による道徳科「公正・公平な態度とは ～どうすればいいのだろう～」の授業で子どもたちは、友達とのやり取りの中で、迷ったり悩んだりする2つの資料の事例を通し、公正・公平に行動するためにはどのような心が必要かを考えました(ICTの活用…事前アンケートの結果を電子黒板に表示、タブレットPCのポジショニング機能で考えの立ち位置表示など)。ICTの中で活用する種類や機能に間違いはありませんが、今後、さらにその生かし方(何のために使うかという目的の明確化など)を検討しながら授業づくりを進めていきます。



★2年松組 体育科の授業



★5年松組 道徳科の授業

